

伊豆一周ウォーキング報告書

文・写真 後藤

と き 2020. 03. 25 (水) 晴れ・風なし
コース 富士IC6:00ー伊豆多賀・長浜海洋公園7:30ー網代8:31ー干物屋さん8:
42ーバスー宇佐美8:56ー伊東・マリンタウン9:44ー汐吹崎10:53ー伊豆
高原・さくらの里11:30~13:11ーバスー赤沢温泉郷ー三島
歩 数 約19000
距 離 約12km
参 加 19名

伊豆高原の桜は素晴らしかった

2月最終の多賀・長浜公園から出発。熱海のAさんが初参加で合流。労山の「山筋ゴーゴー体操」をサポートのKが指導し心身をほぐした。

朝の気持ち良い冷気の中、海沿いをウォーキング。風がなく静かな海が広がる。砂浜がサクサクと足裏に優しい。犬を二匹連れた男性年配者がいた。犬はノー・ロープ。誰かが「あの犬は幸せだ」といった。



Aさん



ワンちゃん



街道に「秋葉山・石灯籠(いしどうろう)」があった。網代に入った。
マリーナに桜が咲いていた。午後は、伊豆高原・さくらの里でお花見予定。咲いているかな??
海岸の釣り船屋さんにババさまが座っていた。聞けば「船は今朝6時ころ出た」という。何が釣れるに「底もの」といった。網代駅前に来た。朝のウォーク予定はここまでだが、網代の干物屋をひやかしに行く。
網代のR135沿いの街道を歩く。干物屋は、宇佐美に向かい右に多い。以前来た時、美味しそうなイカがずらり干してあった。余りの見事さに「凄いですね」と聞けば、実は「プラスチック製」



貸船ババさま



真イカ「炙り焼きなんこつ」



干物屋さん

だった。(そりゃ、イカン！！) その時、「イカくち」と飛ばれる、干物を買った。これは美味しかった。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/index9.html>

ところが、今回なかった。店の主人に聞けば、「イカが獲れない」だった。温暖化で海水温が上がったためらしい。イワシもしかり。温暖化の影響は大きい。仕方がないので、「真イカ・炙り焼きなんこつ」を買った。650ーとやや高かった。

網代～宇佐美間は、先月、東浦路を歩いているので省略。バスに乗る。海岸線は意外と長い。宇佐美で降りて再びウオーキング。宇佐美の海岸もキレイ。丁度、潮が引いてイイ感じ。途中、小川が流れる。何故かアルミ梯子があり、梯子を伝わり渡った。

伊東のマリン・タウンに寄る。案内係の男性がすっとんで来たがトイレだけで残念。コロナ減客で手持ちぶさたのようだ。伊東漁港前を通過する。

第一回・伊豆ウオーキングは、2018年4月25日。出発地の汐吹崎が近くなった。第一回の当日午前は、物凄い暴風雨で皆さん、ズブ濡れになった。道路は氾濫し靴はグジャグジャだった。ただ、私は「長靴」履いてきたので濡れなかった。(ゴメンなさい)

R135を離れ旧道に入る。やっと静かになった。海がキレイ。手石島が見える。ここは潮が大きく引くと、小規模の「トンボロ」が出来る。将来は、大きくなるかも知れない。





伊東漁港



夕吹崎手前

夕吹崎手前で天城の向こうに富士山頂が見えた。懐かしい夕吹崎着。「夕吹現象」が見えるらしいが、この日は波が静かすぎた。諦めバスで伊豆高原に向かう。桜並木の「ソメイヨシノ」は、殆ど咲いていなかった。めげずに「さくらの里」に上る。ところがどうだろう、さくらの里は、様々な桜が満開状態だった。良かった。天気は良く風はない。ここで「お花見」を敢行。



女子班が奮闘



美味しいとん汁



お酒にサクラがひらり

サイコーのお花見だった。コロナなど何処かに飛んでしまった。Kが中心になり、女子が作ってくれた「とん汁」は、具沢山で美味しい美味しい。これだけでお腹が一杯になる。

「ゆっくり・のんびり・グビグビ・ゴロゴロ・マッタリマッタリ」して終了。バスで赤沢温泉郷に向かった。久しぶりに快哉を叫ぶ、完全燃焼のウオークでした。



さくらの里は春爛漫